

メディアリリース

June 2026, Sensirion AG, 8712 Stäfa, Switzerland

## センシリオン、車載用途・熱暴走検知向け 水素センサー「STC42A」のグローバル提供を開始

センシリオンは、水素検知用途に最適な STC42A の一般市場での提供開始を発表しました。本センサーは、バッテリーの熱暴走検知および水素漏れ検知の両用途に対応しています。

清浄な空気中での信頼性の高い水素濃度測定が求められる車載用途向けに設計されており、現在、世界各国の信頼できる販売パートナーを通じて購入可能です。



STC42A は、センシリオンのデジタル熱伝導式水素センサーです。

電気自動車 (BEV) のバッテリー監視システム (BMS)における熱暴走の早期検知用途に特化して設計されています。AEC-Q100 (Grade 2) に準拠しており、厳しい車載の信頼性および堅牢性要件を満たし、安全性が重要なバッテリーアプリケーションに最適化されています。

本センサーはデジタル I2C インターフェースを備え、外部の SHT41A 温湿度センサーと連携して動作します。I2C コントローラーを介して SHT41A から取得した温湿度データを STC42A に直接入力することで、水素信号をリアルタイムで湿度補正することが可能です。

センシリオンの熱伝導センシング技術に基づき、STC42A は工場出荷時に校正済みで、完全に補正されたデジタルの水素信号を出力します。

実績のある熱伝導測定原理により、優れた堅牢性と長期安定性を、極めて低い消費電力で実現しています。そのため、STC42A は、あらゆるバッテリーシステムにおける安全性が重要な熱暴走検知用途に適した、高信頼なセンシングソリューションとなっています。

STC4x シリーズの一つである STC42A は、熱暴走用途に最適化された水素ガスセンシング性能を備えています。バッテリーの熱暴走検知と水素漏れ検知の両用途に適したセンサーです。主な特長は、センシリオンの CMOSens® センサー技術に基づく卓越した性能にあります。この技術は、センサー素子、信号処理、デジタル校正を単一の CMOS チップ上に統合しています。

「STC42A は、バッテリーの熱暴走に伴う初期のガス発生を検知可能な車載用水素センサーです。このセンサーにより、関連する安全規格で求められる「5 分前警告要件」への対応が可能となり、適切なタイミングでの安全対策を支援します。」 — バッテリー状態監視担当プロダクトマネージャー  
Pascal Erne

詳細や STC42A のご購入については、当社ウェブサイトまたはお近くの販売パートナーまでお気軽にお問い合わせください。

---

## センシリオンについて — 環境・フローセンサーソリューションのエキスパート

センシリオンは、効率・健康・安全性・快適性を向上させるセンサーとセンサーソリューションを専門とする世界有数の企業です。1998 年に設立し、現在はスイスのシュテファにある本社と世界各地の多数の子会社に約 1,200 人の従業員が在籍しています。

当社の製品ラインアップは、湿度・温度、揮発性有機化合物（VOC）、窒素酸化物（NOx）、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、ホルムアルデヒド、粒子状物質（PM2.5）などの環境センサーに加え、ガスおよび液体フローセンサー、差圧センサー、ガス漏れ検知センサーが含まれます。これらのソリューションは、さまざまな分野・用途で使用されています。イノベーションのパイオニアとして、センシリオンは自動車、産業、医療技術、HVAC、コンシューマー製品の各市場のお客様やパートナー特有のニーズに対応するソリューションと、費用対効果の高い量産向け高品質製品を開発しています。詳細情報や現在の主要指標は [www.sensirion.com](http://www.sensirion.com) をご覧ください。